

THANKS

BUSINESS NEWS LETTER

(VOL. 277)

発行日：2020年7月1日
発行者：有限会社サクスマインドコンサルティング
連絡先：〒359-0043
埼玉県所沢市弥生町 1792-10
TEL:04-2936-6149
E-MAIL：info@thanksmind.co.jp
<http://www.thanksmind.co.jp>

特集

「相手を動かす『伝え方』の基本⑦」・・・メッセージの組み立て（その1）

本誌では今、「相手を動かす『伝え方』の基本」というテーマを特集しています。
前回まで「伝える」ための基本手順のステップ2「相手の確認」について説明しました。
今回は、ステップ3「メッセージの組み立て」に入ります。

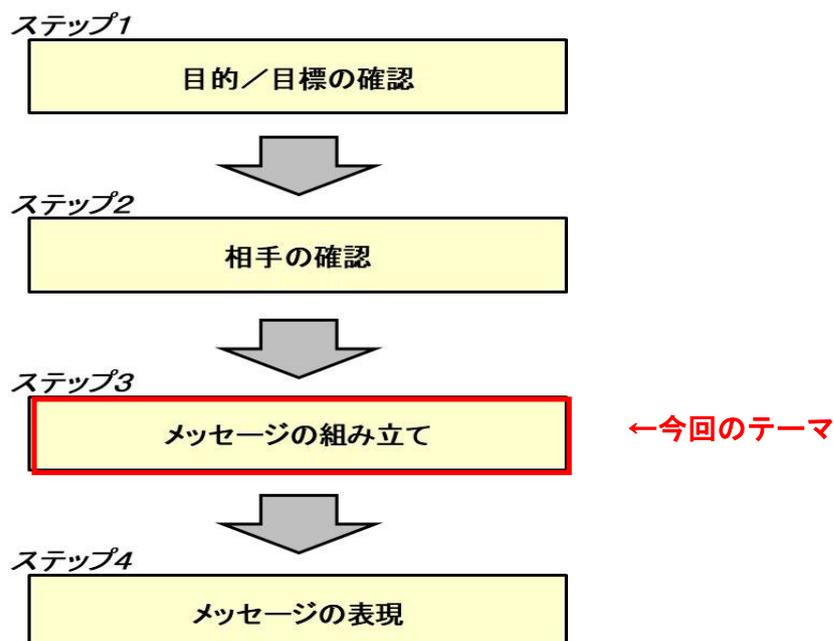
なお、これまでの本誌のバックナンバーは、以下のサイトでご覧になれます。

<http://www.thanksmind.co.jp/newsletter.htm>

1. 「伝える」ための基本手順・・・前号の復習

しっかりと自分の考えを「伝えて」、相手を「動かす」ためには、きちんとした手順を踏むことが大切です。

以下が基本の手順です。



2. 各ステップの留意点

ステップ1：目的／目標の確認

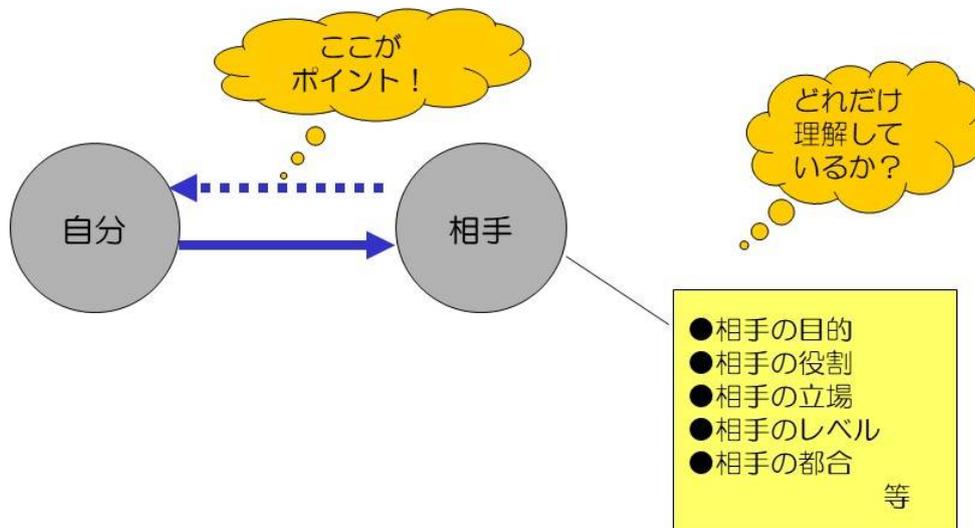
ステップ2：相手の確認

<ポイント>

自分が伝えたいことを伝える のではなく 相手が知りたいことを伝える



いかに、相手の立場に立って考えることができるか



— — — ここから新しい今回のテーマ — — —

ステップ3：メッセージの組み立て

相手のことを理解したら、次のステップは、「メッセージの組み立て」です。

「あの人の話は言っていることは分かるけど、どうも腑に落ちない・・・」
なんて思われたらダメ。

相手は、こちらが意図したようには、動いてくれません。

「確かにその通り！」と思ってもらえるようにしましょう。
ということで、今回はまずは例題から。

考えてみよう！

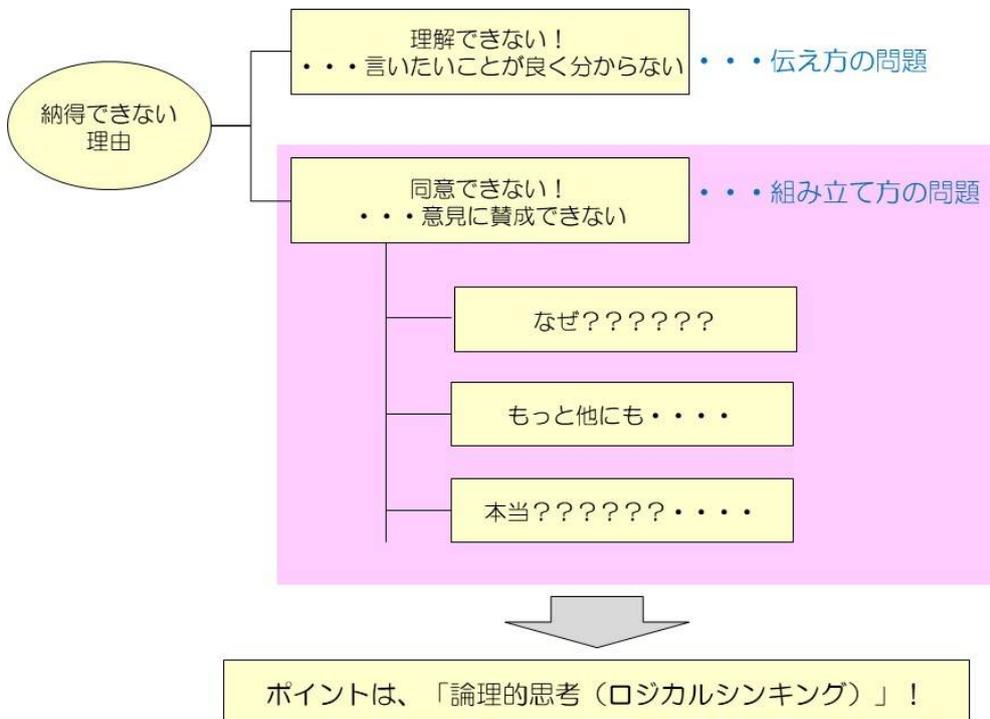
皆さんは、以下の意見に納得できますか？ できないとしたら、なぜですか？
また、どのように変えたら（どのような情報を加えたら）、納得できる意見になるでしょうか？
※変え方は自由ですが、前提として、意見の結論は維持してください。
皆さんが、意見を言っている人にアドバイスをするイメージ。
「そんな伝え方ではダメ。 このように変えたら良いと思うよ」という感じです。

例題① (国会での、議員の意見)

日本は、税金を増やすための対策を講じる必要がある。
カジノは、新たな税金の徴収源として期待できるので、私は、カジノを
解禁することに賛成だ。

質問の冒頭に「以下の意見に納得できますか？」とありますが、上記の例題は、当然、「納得してはダメ」なものです。

人が納得できない理由は、以下の図の通り、大きく2つあります。
ひとつは、「理解できない」というもの。
これは、「伝え方」の問題で、ステップ4で詳しく説明します。
もうひとつが、理解はできても、「同意ができない」というもの。
これが「組み立て方」の問題ですが、ポイントは、ズバリ、「**論理的思考**」です。



<手法例>

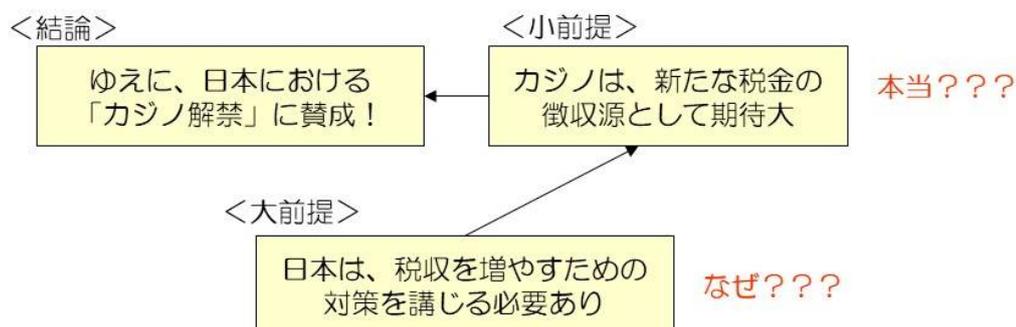
・演繹法／帰納法 ・ロジックツリー ・多面的思考 等々

「論理的思考」そのものについて解説すると、それだけで1年くらいかかってしまうので、今回は割愛します。

もし、ご興味がある方は、本誌のバックナンバーの139号～147号で特集していますので、それをご参照ください。

ということで、例題①について解説すると・・・

前ページの意見は、いわゆる「三段論法」のような形になっています。
ちなみに、「三段論法」のように、情報をつなぎ合わせて結論を導き出す手法を、「演繹法（エンエキホウ）」とって、論理的思考の代表的なやり方です。

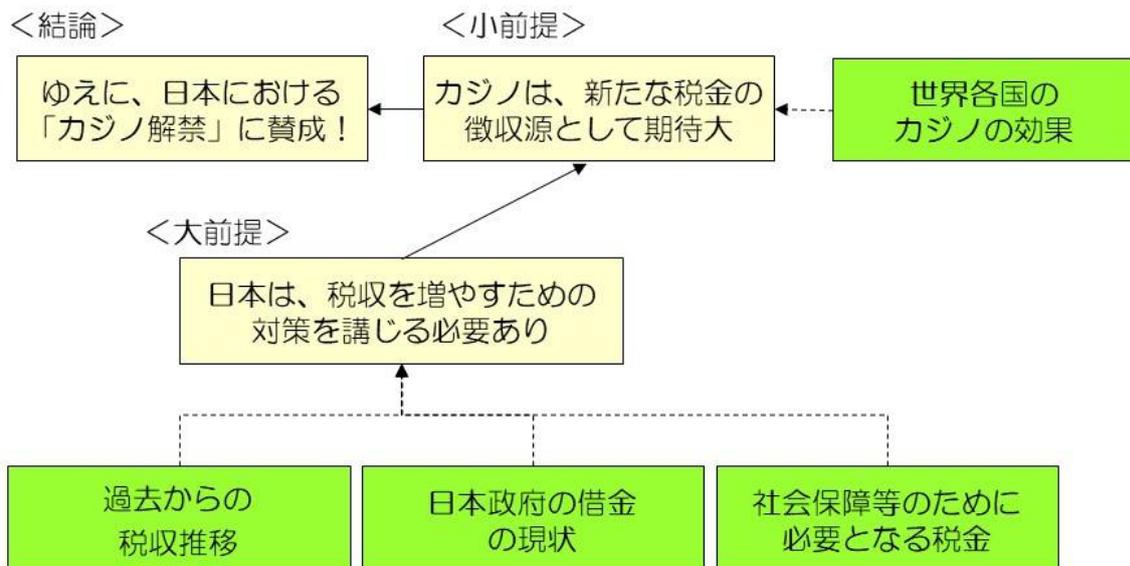


「演繹法」で主張を組み立てる場合、大事なポイントは、「結論」につなげる「大前提」と「小前提」に疑問の余地がないことです。

さて、皆さんは、上記の「大前提」「小前提」に疑問を持ちませんか？
「日本は、なぜ税金を増やす必要があるのか？」
「カジノは、新たな税金の徴収源として本当に期待大なのか？」
もし、そのような疑問を持っていたら、当然、結論には納得しないでしょう。

そのような疑問を持っている人を納得させるためには、疑問を払拭するための根拠（事象やデータ等）が必要です。

→ 次ページの修正方法を参照ください。



「帰納法（事象の積み上げによる組み立て）」による根拠づくり



私はカジノの解禁に賛成である。

理由は以下の通り、

- ①日本の税金は、過去20年でほとんど伸びていない
 - ・・・「資料A：過去20年の税収推移グラフ」
 - ②日本政府の借金は、現状で1000兆円以上に膨らんでいる
 - ・・・「資料B：日本政府の借金の推移グラフ」
 - ③今後、高齢化にともない、社会保障費等は、大きく増加する見込み
 - ・・・「資料C：高齢化に伴う医療費／介護費の予測」
- ⇒こうしたことから、日本は税金を増やす対策を講じる必要あり！
- 一方、世界各国のカジノによる税収効果は概ね非常に高い
- ・・・「資料D：世界各国のカジノによる税収効果」
- ⇒よって、私は、日本においてカジノを解禁することに賛成！

<次回に続く>